

平成 30 年度第 1 回八幡平市環境審議会 会議録

日 時	平成 30 年 8 月 21 日 (火) 13:30 から 15:45
場 所	八幡平市役所ホール棟 大ホール
内 容	<p>(委嘱状交付)</p> <p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 副会長の選出について</p> <p>5 議事</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 環境基本計画年次報告 (平成 29 年度実施状況) について</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) その他</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>
出席者	<p>【委員 12 名】</p> <p>竹原明秀委員、北村安委員、遠藤忠志委員、千田康洋委員、高橋富一委員 田中耕一委員、片野正子委員、畑山勝美委員、大森貞子委員、佐藤真澄委員 生原修委員、畠沢重年委員、吉田千賀子委員</p> <p>【事務局等】</p> <p>田村市長、小山田総務課長、香川企画財政課長、津志田地域振興課長 松村地域福祉課長、遠藤農林課長補佐、小山田商工観光課長、関本建設課長 堀口上下水道課長補佐、渋谷西根総合支所長、佐藤安代総合支所長 畑山農業委員会事務局長、工藤教育総務課長</p> <p>(事務局：市民課) 佐々木市民課長、高橋課長補佐、工藤環境企画係長、土村主任</p>
議 事	(1) 八幡平市環境基本計画 (平成 29 年度実施状況) について

会議録	
	1 開会
副市長	2 市長あいさつ
会長	3 会長あいさつ
	4 議事 (1) 環境基本計画年次報告 (平成 28 年度実施状況) について (2) その他
(1) 環境基本計画年次報告 (平成 29 年度実施状況) について	
事務局	平成 30 年度版八幡平市環境基本計画年次報告書、第 1 章から第 3 章及び第 4 章の 基本目標について説明。
	質疑応答 (基本目標 1 について)
会長	市の人口について、取組状況で人数等が目標として掲げているところもあるが、市

	の人口は減っているのですか？
事務局	<p>手元に人口のデータが無いので、傾向としてお話をさせていただきます。</p> <p>八幡平市が合併した当時は 32,000 人いましたが、直近の人口では 26,100 人を切っています。合併して 13 年ほどで 6,000 人近くの人口が減っている。内容については、自然減、つまりお亡くなりになる方が年間 450 人位いる。出生は年間 130～150 人位いる。差し引き 300 人近く自然減がある。社会増減については、やはり転出のほうが多くて、転入転出の差が 150 から 200 人位ある。年間約 500 人の減少となっている。たまたま、先月の人口は先々月より 1 人増えた（市になって初めて）。世帯数についてはほぼ横ばいの状況である。</p>
会長	<p>最初の外来種駆除活動のところで子供の数というのが出てきているので子供の数も減っているのでしょうか。</p> <p>10 ページの 1 番上の 1-1-3 のところに、特定外来種の情報提供の中でオオハンゴンソウのことが書かれていますが、それ以外でも外来植物がやたらと増えているんですが、最近テレビでも取り上げられたスズメバチをはじめとしてハクビシンなど話題が出ていて今後、動物系の外来種の問題が出てくるのではないかと心配している。</p> <p>オオハンゴンソウの駆除方法についてと書いていますが方法が何かあるのでしょうか？</p>
事務局	<p>前に会長からご指導いただいたんですが、オオハンゴンソウについては、ほかの種類もそうだと思うんですけども、草刈機械で刈り取ると種が飛ぶのですっかり根元から引っこ抜かないと減っていかないということを教わっているのでホームページでは、そのように載せていますので駆除方法という表現にしました。</p>
	質疑応答（基本目標 2 について）
委員	<p>2-4-2 の項目で、不法投棄パトロールの実施及び啓発活動の実施についてですが、八幡平温泉郷のごみステーションでの家電粗大ごみの不法投棄について一向に改善されていないというお話があったんですけども、これについて原因とかわかっていることがあるのでしょうか？</p>
事務局	<p>ごみの集積所については、基本的には自治会で設置してそれぞれで管理してもらっているんですが、温泉郷には自治会が無くて管理できていない状況でした。旧松尾村時代から、その部分についてだけ市がごみステーションを設置して管理しているわけですが、建物が非常に大きくて、昨年ですか引越したときにそのまま家財道具一式を、ベットやテレビ、冷蔵庫などすべてのものをそこに置いていくということがありまして、こういうことが 1 回でなく何回もありまして、テレビ等をそこに置いていくということが恒常的にありまして、市としてもポスターを張ったりして対策を講じていましたが一向に治まらないので、普段カギをかけていなかったんですけども、カギを新たに設置していつでも捨てれるような状況、あるいは大きいものを入れられないような環境を今年になってから作っていたんですが、それでもまだ、治ま</p>

	らないので業者にも協力していただいて防犯カメラを設置して粗大ごみ等を捨てていく人を防犯カメラで追えるのかどうかを試験的にやっているところです。
委員	カギをかけたんですか？
事務局	今までは、シャッターのカギをかけていなかったんですが、シャッターにカギをかけて両脇は通れるようにしております。
委員	温泉郷に住んでいるんですが、連休の時に必ず捨てられます。別荘のオーナーさんたちが帰ってきて、マンションとかペンションとかも結構古くなってきているのでこれを機会にということなのか家電や布団とかを捨ててしまえばいいという風になっている。布団は清掃センターにもっていけばいいのに都会の人はそう考えていないようだ。以前から防犯カメラはいいなあと思っていました。白樺の森のようにカギをかけるのもいいことでごみが半分くらい減ったとのこと。
事務局	ただ今のご意見は参考にさせていただきます。柏台の駐在所にも定期的に巡回してもらうことをお願いしている。西根交番にも協力をお願いしています。
会長	20 ページの農業用廃プラスチックの回収というのがあるが、数値が毎年同じようになっているが、毎年同じぐらいの量を購入されて使用されているということですか？使用量の減量化はできないだろうか？
事務局	今お話があったとおり量については、横ばい、購入量については、把握していないのでわかりませんが、土に戻るような素材はあるんですがなかなか使い勝手が悪くあるいは高いので普及が進んでいないようです。ただ、この補助があるので野焼きなどでビニールを焼かれることは昔よりはなくなってきていると考えています。
会長	世界的にプラスチックの廃止の方向に向かっているところで回収量が増えるのが良いというわけではなくて、使用量を減らすことが大切なので評価については、難しいところです。今後は使用量を減らすようにしていってほしい。 平成 28 年度から平成 29 年度に係るところでA評価からB評価になっているところが2箇所ある。水質の部分であるので説明がありましたけども年度を追うごとに評価達成率を高めるように対策をお願いしたい。
	質疑応答（基本目標3について）
会長	看板ですか、AからCに落ちていますが理由としましては、国立公園の満喫プロジェクトと何か関係があるんでしょうか？それとも予算的な関係でしょうか？
事務局	看板の設置につきましては、平成28年に希望郷いわて国体がありまして全国から訪れる選手の皆様を歓迎するために設置しましたが、平成29年度については、環境省で明日の日本を支える観光ビジョンというなかに国立公園のプロジェクトということで2020年までに訪日外国人を呼び込むということでこのプロジェクト事業を受けまして、十和田八幡平国立公園満喫プロジェクト地域協議会というのがあります。これは東北3県が加入している。この協議会では、標識のガイドラインを平成29年度に策定しました。観光客から標識がわかりにくいという意見もあり、標識のガイドラインについて協議会で作成したところです。盛岡インターチェンジから

	北は青森までかなりの広範囲で標識の統一を図ろうということで進めていくことになりました。平成30年度から着手するところもあり、市のほうでもガイドラインに沿った形で看板について設置していきたい。
会長	例えば、平成29年度に0基だったので、平成30年度は6基作るというような数字的なものはあるのでしょうか？
事務局	主に市で作っている標識につきましては、施設案内看板が主なもので、道路標識については、県のほうで設置しています。施設の案内が不十分ということもありまして、基数を目標値として設置できればよろしいのですが、できるだけわかりやすいような形、ガイドラインに沿った形で設置していければと考えております。
会長	あと27ページのところなんですけども沿道の刈払いの実績で面積的に、県道田代平西根線とか減っている状況なんですけども、これは対象となる距離が減ったのかどうか教えていただきたい。
事務局	この数字については、市のほうで委託業務発注している数字となっています。そのほかにも直営でかなりやっています。ただ、直営のほうは数字が出ていないのですが、直営と委託を合わせれば例年並みに行っています。
会長	そうであれば、その旨を記載していただきたいです。そうしないと数字が減っているように感じますので。
	質疑応答（基本目標4について）
会長	木質バイオマスのチップについては、市内産ですか、市外産ですか。
事務局	市外産です。
会長	施設関係についてC評価となっているが、毎年様々な状況によって、平成29年度は選挙があつて灯油を使用したとなっていますが、目標の立て方にも問題があるように感じるが、2年連続C評価となっているがこれについて改善できるようなものはありますか。
事務局	現状は効果的な対策は見いだせない状況ですが、昨年度、地球温暖化防止対策実行計画の事務事業編を策定させていただきました。平成30年度からそれに基づいて庁舎だけに限らず公共施設全般についてCO ₂ 削減について取り組むことになりました。そちらのほうにシフトというか重点を置きながら具体的な取り組みを考えていきたい。来年度の地球温暖化防止対策実行計画の報告にあたってどのような数字が出てくるかはわかりませんがその時に実績を上げればと思っております。
	質疑応答（基本目標5について）
会長	環境学習の推進についてですが、実施後の報告ですか。
事務局	後から実施したものを掲載しております。大きい項目では、学校の指導方針というなかで環境教育による部分、あるいはこれはどちらかといいますと地域との協働ということでそことリンクさせながら地元のクリーンセンターの学習が多いのですが、子供会の活動で廃品回収も入っているものと思います。学校ごとに特色がありますので一律でこうということは、していない。

会長	ちなみに市内には何校あるのですか。
事務局	小学校が10校、中学校が4校で併せて14校で、ほぼすべての学校が何かには取り組んでいる状況です。
会長	イベントが少なかったということでAからBになっていますが。今年度については、何か企画しているのでしょうか。
事務局	今年度につきましてはこれからでございます10月以降に公衆衛生組合を対象としました研修会、あるいは、昨年度も行いましたがごみ減量化を考える講演会を行います。今年度につきましては、生ごみを出す際に水切りのありなしで重量を測ってアンケートに記入していただいて提出していただいてどのような効果があるのか、またそれを通じて市民の皆さんにごみの減量化について啓発していきたいということを取り組むこととして準備をしているところです。
会長	これは、市民課でのイベントなのでこの回数だが、他の課のも纏めれば4回以上にはなるので纏め方を変えたほうがいいのではないか。そうすれば情報発信をきちんと行われているということになる。
	全体的な質問・意見
委員	数値を基準とした評価が困難な項目ということについては、なにか考え方を変えたほうがよろしいのではないのでしょうか。少し工夫してもらいたい。
委員	水生生物調査について、平舘小学校は長年行われているようだが、これは、小さな小川のようなところでもできるので子供の環境学習のためにも行ってほしい。
会長	基本計画は、平成33年までですが、地球環境は変わっていていますので目標数値についての変更や、項目の追加など臨機応変に行ってってもらいたい。 以上で私のほうからは終わらせていただきます。
	5 閉会

